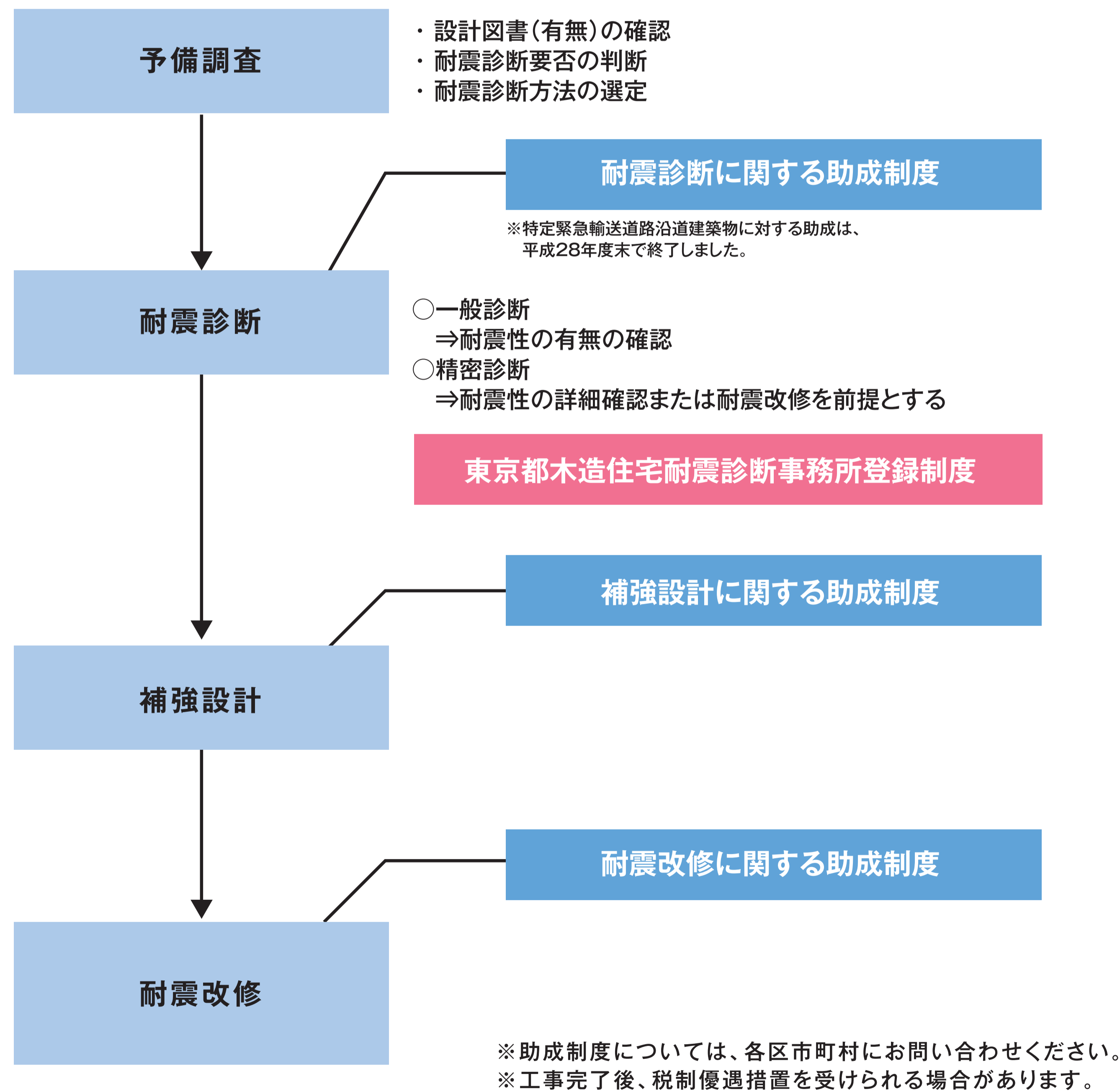




# 耐震診断・耐震改修の流れ(木造)

1995年(平成7年)阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)においては、1981年(昭和56年)以前の旧耐震基準で建てられた建物に大きな被害が集中したことから、旧耐震基準で設計され施工された建物は、大地震時に倒壊・崩壊する危険性がないか確認することが必要とされています。

## 耐震診断・耐震改修の流れ



## 耐震診断の様子



土台の腐朽具合を調査



基礎のひび割れを調査



床下から湿潤状態や部材の腐朽、シロアリ被害の有無を調査



柱脚の腐朽を調査



柱脚の腐朽を調査



鉄筋探査機で基礎の鉄筋の有無を調査



下げ振りで柱の傾きを調査



仕上げを壊さずにコンセントカバーを外して、下地材の厚みを調査



屋根瓦の葺き土の有無を調査



押入れの天井板を外して、屋根裏を調査



小屋裏から土壁の状況を調査



小屋裏から筋かいの取り付け状況や羽子板ボルトの有無を調査

写真提供:(有)前田総合建築設計